

第34回（2017年度）若手研究者のための健康科学研究助成受贈者一覧

a. 指定課題（10件、一律100万円を助成）

（五十音順・敬称略）

氏名	所属	研究テーマ
梅沢 侑実	国立障害者リハビリテーションセンター 脳機能系障害研究部	自閉スペクトラム症者にみる運動のぎこちなさとその基盤となる皮質内抑制機能の低下
江本 美穂	札幌医科大学 医学部	運動習慣により抑うつと軽度認知障害は予防できるか？ —脳内酸化ストレス動態を指標とした評価について—
黒澤 彩	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科	時間運動学に基づくうつ予防のために最適な座位行動・身体活動パターンの解明
相良 郁子	長崎大学 保健・医療推進センター	運動を習慣化する動機付け方法の探索 —2015年12月義務化ストレスチェックから見えるストレス状況と運動習慣—
笹井 浩行	東京大学大学院 総合文化研究科	大学生の体力と卒後のメンタルヘルスの関連 —50年以上追跡する大規模コホート研究—
根本 裕太	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科	地域在住高齢者を対象とした複合的認知機能低下予防プログラムの効果検証 —無作為化比較対照試験—
福家 健宗	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	メンタルヘルスを高める豊かな運動環境の開発 —高グルーヴ音楽の効果—
本田 貴紀	九州大学大学院 医学研究院	地域住民における中年期から高齢期にかけての長期の運動歴と認知機能低下に関する研究 —前向きコホート研究—
牧野圭太郎	国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部	抑うつ高齢者の身体活動量とBDNFおよび脳容量との関連 —慢性疼痛の有無に着目した縦断観察研究—
森 雅樹	滋賀医科大学 神経難病研究センター	運動が脳の若さを維持し認知症を予防する分子生理機序の解明

b. 一般課題（10件、一律50万円を助成）

氏名	所属	研究テーマ
天野 達郎	新潟大学 教育学部	運動トレーニングに伴う発汗機能の改善機序 —アドレナリン機構の役割—
及川 哲志	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	分泌型マイクロRNAを介した毛細血管と骨格筋の組織間相互作用
木村 剛英	つくば国際大学 医療保健学部	運動学習を促進させる新たな介入方法の探究 —背外側前頭前野を動員する認知課題の可能性—
清原 康介	東京女子医科大学 医学部	健康的に運動を行うための救急搬送ビッグデータを用いた疫学研究 —運動中の事故防止に向けて—
瀬古 大暉	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科	性特異的な骨格筋量制御メカニズムの解明 —筋力維持に重要なエストロゲンに着目して—
坪井 大和	神戸大学大学院 保健学研究科	職場におけるアクティブレスト導入がオフィスワーカーの慢性腰痛に及ぼす効果 —ランダム化比較試験によるStand Up per 1 hour & Workout Program (Super Workout Program)の効果検証—
中島 康貴	九州大学大学院 工学研究院	後方への滑り転倒現象を再現したトレッドミル歩行時の転倒回避動作に基づいた転倒リスク評価システム
棗 寿喜	順天堂大学 スポーツ健康医科学研究所	運動が大腸がんの発症を抑制するメカニズムをエピジェネティクスから紐解く
森嶋 琢真	法政大学 スポーツ研究センター	高負荷・低反復回数の筋運動が血管内皮機能に及ぼす影響
渡邊 龍憲	名古屋大学大学院 医学系研究科	二重課題条件下における発揮筋力調整機能の加齢変化とその神経生理学的機序の解明

< 選考委員奨励枠 >（3件、一律30万円を助成）※受贈課題以外から選考委員推薦による特別枠

氏名	所属	研究テーマ
大野 善隆	豊橋創造大学 保健医療学部	乳酸刺激による運動代替効果 —骨格筋肥大に乳酸刺激は有効か？—
黒坂 志穂	広島大学 教育学研究科	骨形成促進プログラムが閉経後女性の骨粗鬆症改善に及ぼす効果
中木 直子	京都光華女子大学 健康科学部	女子大学生を対象とした月経周期に伴う味覚・食行動の変化と月経前症候群との関連

（所属は応募時のものを記載）